

所属・資格 総合文化研究室・教授

申請者氏名 坂本 恵

研究課題		1 待遇コミュニケーションの効果的な教育法 2 アカデミック・ジャパニーズ教育の方法論 3 日本語教授法
報告の概要	研究目的 および 研究概要	1 待遇コミュニケーションの効果的な教育法 待遇コミュニケーションの研究を長年行っているが、現在は一般向け、留学生向けの教育法について研究を進めている。教材や解説書の出版も企画している。引き続き、待遇コミュニケーション研究についても考察を深める。 2 アカデミック・ジャパニーズ教育の方法論 日本語教育、教授法について研究を進めている。近年はアカデミック・ジャパニーズの特に聴解教材の開発に力を入れている。引き続き教材の開発、教育方法の研究を進める。 3 日本語教育教授法の研究 日本語教育の教授法について研究を進める
	研究の結果	1 待遇コミュニケーションの効果的な教育法 現在教材作成プロジェクトが3件進行中である。以前から進めている中国での出版を目的としたプロジェクトは大詰めに来ており、来年度中に出版の見込みである。このために共同執筆者との協議も行った。新規のプロジェクトのうち、一つについては研究会を立ち上げ、執筆の準備にかかっている。もう一つのプロジェクトは個人のものであるが、執筆を始めている。このテーマについて、海外での講演会を3件行った。 2 アカデミック・ジャパニーズ教育の方法論 これまでに開発した教材を使用し、効果的な使い方について研究を進めている。その成果をセミナーで講演を行った。このテーマでの講演会を1件行った。以前から計画を進めている出版についても来年度には出版の見込みである。 3 日本語教育教授法の研究 文献を講読し、研究の方向性を探っている段階である。来年度にはテーマを明確にして、研究を進めたい。
	研究の考察・反省	1, 2については、これまでの研究をまとめる段階に来ているので、どちらも出版の準備を進めているところである。特に今年度は新しいプロジェクトを立ち上げ、新規の出版に向けた研究を始めたところである。今後も遅滞なく進めるようにしたい。以前から進めている計画は共同執筆者との協議を行っているが、進捗がはかばかしくない。来年度は出版できるよう努力したい。どちらも効果的な教育法を開発し、発信できるような機会を多く持ちたいと思う。 3についてはこれまでも経験的に行ってきたものを理論的にまとめていく段階に来ており、今後も研究を進めていきたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所  研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>以下、いずれも講演：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中日教育研究協会「中国からの日本留学生の変遷と日本語教育の現状」2019年4月21日 中日教育研究協会2019年度研究大会基調講演／中国大使館教育部</li> <li>・スリーエーネットワークセミナー「大学・大学院で、講義を聞く力を養うために－『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ動画で学ぶ大学の講義』を使って－」2019年7月29日</li> <li>・スリーエーネットワークセミナー大阪「大学・大学院で、講義を聞く力を養うために－『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ動画で学ぶ大学の講義』を使って－」2019年11月7日</li> <li>・ベルリン自由大学講演会「日本語の敬語コミュニケーションの考え方」2020年3月14日</li> <li>・ハンブルグ大学主催講演会「日本語の敬語コミュニケーションの考え方」2020年3月15日</li> <li>・国際交流基金ケルン日本文化会館日本語教師研修会2020春「運用力養成を重視した日本語教育－聴解を中心に－」2020年3月19日</li> <li>・オーストリア日本語教師会主催講演会「日本語の敬語コミュニケーションの考え方」2020年3月21日ウイーン大学</li> </ul>	